

社協だより あさご

朝来市社協

検索



令和7年度 ボランティアステーション 連絡会



99名の方の参加がありました

CONTENTS

令和8年度社協の助成事業	P2,3
令和7年度ボランティアステーション連絡会	P4
社協委員の活動	P5
赤い羽根共同募金ご協力ありがとうございました	P6
ほっとコミュニケーション事業の紹介	P7
宅老所ふらっと	P8
あさごふれ愛の郷あおぞら	P9



今年も
実施します!

令和8年度 社協の助成事業

区が対象の助成事業

●地域支え合い助成事業

目的

区に福祉部会を設置することで、地域内での支え合い・助け合い体制を推進し、安心して暮らせる多様なつながりのある地域をつくること

助成対象事業		助成金額	申請回数	対象期間
初年度	福祉部会設置、区役員名簿に部会構成員名を記載	30,000円	年度内 1回まで	4月～2月
	福祉マップを作成	10,000円		
2年目以降	福祉マップ更新を含む福祉部会活動	10,000円		

●地域応援助成事業

目的

地域内で、世代間交流や孤立を無くすことを目的として行う食堂事業の開催にかかる経費の負担軽減と、地域内での支え合い・助け合い体制をつくること



赤い羽根共同募金
配分事業です

助成対象条件	助成上限額	助成回数	対象期間	
〔以下の条件を満たす食堂事業〕 ・他機関から補助金・助成金を受けていないこと ・区民全員を対象とする事業 ・開催時に本会が貸与する「にこにこ食堂」ののぼり旗を設置すること	〔参加人数に応じて交付〕 60名以上	30,000円	年度内 1回まで	4月～2月
	40名から59名	25,000円		
	20名から39名	20,000円		
	19名以下	10,000円		

※令和8年度から、「にこにこ食堂」ののぼり旗は社協より貸与します

非営利で活動する団体が対象の助成事業

●お出かけ助成事業

目的

市内の高齢者・障害者(児)の支え合いや生きがいづくり活動を支援する団体が、外出行事を行う際に使用するマイクロバス等の使用料金の負担軽減と社会参加の促進や自立支援を目的とする



赤い羽根共同募金
配分事業です

助成対象事業	助成対象条件	助成金額	助成回数	対象期間
社会参加の促進や自立支援を目的とした日帰りの外出行事	・ミニデイ、ぶちサロンの団体 ・高齢者、障害者(児)を中心とした団体 ・どこからも助成を受けていない団体 ・非営利で活動する団体	使用するマイクロバス等の使用料の半額 ※30,000円を上限	年度内 3回まで	4月～2月

※助成事業の申請は、実施の2週間前までにお願いします。

ボランティア市民活動センターに登録のあるボランティアグループが対象の助成事業

●つどいの場活動支援助成事業

目的

年間計画を立てて、地域ミニデイ活動を実施するグループの活動にかかる経費の負担軽減と介護予防を推進すること

助成対象条件	助成上限額・回数	対象期間
〔以下の条件を満たす活動〕 ・年間4回以上の活動があること ・ボランティア養成・育成講座を年1回以上受講すること ・ボランティア活動の相談・要請ができること	〔活動実績回数に応じて交付〕 12回以上	36,000円
	8回から11回	24,000円
	4回から7回	12,000円
		4月～3月

●ボランティアグループ育成・助成事業

目的

市内で地域住民によるボランティア活動を実施するグループのボランティア活動にかかる経費の負担軽減とボランティアを推進すること

助成対象条件	助成上限額・回数	対象期間
〔以下の条件を満たす活動〕 ・ボランティア養成・育成講座を年1回以上受講すること ・ボランティア活動の相談・要請ができること	〔活動実績回数に応じて交付〕 12回以上	36,000円
	8回から11回	24,000円
	4回から7回	12,000円
	1回から3回	1回毎に3,000円
	↳ ※都度申請とする	
		4月～3月

地域の仲間づくり、出会いの場づくりを目的とした任意の集まりが対象の助成事業

(ボランティア市民活動センター登録不要)

●ぷちサロン活動応援助成事業

目的

年間定期、不定期を問わず地域住民が気軽に集うぷちサロン活動を実施するグループの開催にかかる経費の負担軽減と継続的に活動できるよう応援すること



赤い羽根共同募金
配分事業です

助成対象条件	助成金額	助成回数	対象期間
・参加住民が7名以上の集いで、その内65歳以上が過半数をしめていること ・地域住民全体が参加できる場であること ・どこからも助成を受けていないこと ・区や地域の毎年計画的に行われる年間行事を除くこと ・地域ミニデイ活動を除くこと	活動1回につき2,500円を上限に100円単位で交付	年度内6回まで	4月～3月

“助成事業についてもっと知りたい”と思われた皆さん、ぜひご相談下さい。

《お問い合わせ》

朝来市社会福祉協議会 総合支援課

TEL 079-677-2702 FAX 079-677-2706

令和7年度 ボランティアステーション連絡会 ～助け合いの輪を広げよう～を開催しました

令和8年1月20日(火) さんとう緑風ホールで社協登録ボランティア(グループ・個人)の皆さんを対象に、令和7年度ボランティアステーション連絡会を開催しました。

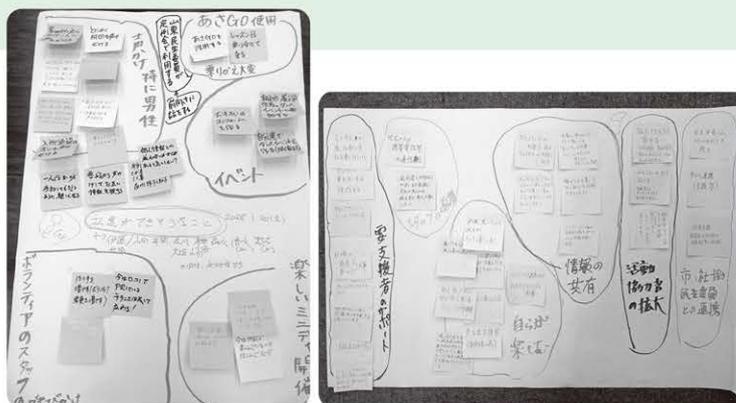
【テーマ】 助け合いの輪を広げよう

【内容】

- 1 活動発表
 - ・おしゃべりサロン市場
 - ・たけだスマイル食堂
- 2 グループ交流
 - ・自己紹介
 - ・助け合いの輪を広げるために “私たちが今後できそうなこと” を考える
- 3 市から「ためまっぷ」のご紹介



グループ交流では、活動発表されたグループを見習って、和気あいあいとした雰囲気の中、自分達のグループで「こんなこともできるかなあ」と考えていただきました。出た意見を付箋に書き、模造紙に貼り、グループでまとめていきました!



【参加者のご意見】

- ・後継者がなかなか出来なくて困っている。週1回の活動を楽しみに待って下さる方が多いので何とか続けて行きたいです
- ・みんなが孤立しないため呼びかけていきたいと思います
- ・民生委員さんとのつながりを持つことも大事
- ・地域での困りごとをミニデイと相談できたらいいなと思います
- ・つながりが大事!何か新たな情報があるかも! 等

グループ・個人問わず、色々なボランティア活動をされている皆さんと出会うことができ本当に楽しい会でした! いただいたご意見を参考に、今後の連絡会や事業展開に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました!



社協委員の活動

1月から2月の社協委員の活動を一部紹介します。今回、掲載されていない社協委員もそれぞれ計画を立てて着実に現在進行中です！社協委員の活動にご理解、ご協力をお願いします。

生野・奥銀谷地区社協委員

生野地区・奥銀谷地区は一体的に取り組むこととなり合同で座談会を行っています。社協委員は生野地域民生委員児童委員協議会で挨拶をさせていただき、防災・福祉マップの説明や生野新町区の実践内容をお伝えし推進活動に取り組まれました。

生野・奥銀谷地区社協委員 合同座談会の様子



与布土地域自治協議会への訪問の様子



与布土地区社協委員座談会

与布土地域自治協議会が2月より、毎週水曜日に「与布土みんなの広場」を開設されるにあたり、その内容についてお聞きしました。広場はお年寄りから子どもまで誰でも気軽に集うことができる場であり、現在見守りボランティアを募集されています。この見守りのサポートに社協委員も参加予定です。

和田山地区社協委員

市の市民協働課の職員に来ていただき、社協委員と和田山地域自治協議会が地域支援でつながりたいと話し合いました。

「花いっぱい運動」の推進についてお話をいただき、現在検討中です。

また、改選された新たな民生委員と顔合わせの機会を設け、意見交換をしたいと考えています。

大蔵地区社協委員

大蔵地区では年2回、民生委員・福祉委員・社協委員が集まり合同会議を開催されています。2/24(火)の合同会議では、福祉マップを推進するために内容説明や、お互いに地域の現状を把握するため話し合いが行われました。

令和7年度

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました。



●令和7年度目標額 **7,846,000円**



令和7年度 募金実績額

7,672,082円

(昨年度 7,655,674円)

戸別募金	5,848,974円
街頭募金	99,172円
法人募金	1,464,983円
学校募金	114,615円
職域募金	101,624円
個人募金	1,074円
その他募金	41,640円
合計	7,672,082円



共同募金はこんな事業に使われています。

○福祉教育活動助成事業

市内小中高、こども園、特別支援学校が「ふだんのくらし」のなかの福祉課題に目を向け解決に向けて考え、実践する力を養うことを目的とした助成事業。

枚田小学校は、車いす体験を実施されました。

(以下、先生のコメント)

実際に車いすに触れ、体験することで、その操作の難しさや移動のしにくさを実感することができました。



児童たちも想像以上に工夫や力が必要であることを感じ、「これから車いすを利用している人を見かけたら、自分にできることを考えて行動したい」という思いをもつことができました。貴重な体験の機会をいただき、ありがとうございました。

その他

- ・ほっとコミュニケーション事業
- ・生活困窮者支援事業 等々

詳細は社協ホームページをご覧ください。

赤い羽根共同募金にたくさんのご協力をいただきありがとうございました。

みなさまのやさしいお気持ちは地域での支え合い活動等のため大切に使用させていただきます。

ひとり一人の思いやりが、安心して暮らせるまちづくりにつながっています。心あたたまるご支援に心より感謝申し上げます。

これからも赤い羽根共同募金へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

朝来市共同募金委員会

事務局/朝来市社協

和田山・山東地域センター

電話 079-676-5215



住みなれた地域で いつまでも安心して暮らしていく (ほっとコミュニケーション事業の紹介)

1、ほっとコミュニケーション事業ってどんな事業

[対象] 民生委員が要見守り世帯の対象と認めた概ね75歳以上の高齢者等。

[内容] 誕生月に、社協職員が民生委員と対象者宅を訪問し、『暮らしのアンケート調査』を通じて現況を聞きながら、日常生活に係る課題や困りごとの支援や情報提供を行っています。アンケート調査で気になる回答のあった方については、民生委員、地域の高齢者相談センター、(介護認定のある方は担当ケアマネジャー)、社協委員に参加いただき『調整会議』を開催し課題解決に向け取り組んでいます。

[事業の効果]

訪問時、前年に比べて状況に変化があった際には、その場で必要な情報提供や福祉支援の提案を行っています。(R6年度:110回)

また、調整会議には地域の方の出席をお願いしています。地域での見守りや支え合う仕組みづくり等を検討しながら、その方がいつまでも地域で安心して暮らせるよう支援しています。(R6年度調整会議:7回)



2、訪問時の対象者の声

[Aさん] 民生委員さんや、社協さんにいつも気にかけてもらって安心です。

わからないことを自分から直接聞きに行ったり電話したりして尋ね難いですが、訪問してもらって話の中で気軽に教えてもらってよかったです。

[Bさん] 運転免許証を返納予定でのタイミングで訪問があり、あさGOの説明をしていただき有難かったです。

[Cさん] 普段とは違った人と話せるのはよい機会。

3、調整会議を開催した事例を紹介

事例1) 82歳の一人暮らしの男性Aさん。近くに身寄りもなくちょっと気になる方。ほっとコミュニケーション事業で訪問させていただくと、「倒れても救急車が呼べるかわからない。」と話しておられました。気になることから、『調整会議』を開き、民生委員さんや隣保の方がゆるやかな見守り、加えて区内のボランティアでサロンをしておられる方にもお願いしたところ、「サロンで食事やお菓子を作った時に家まで届けに行き様子を見てくるね。」と快く引き受けてくださいました。

この活動が始まり2年間、今も継続されています。Aさんはこの訪問を楽しみに待っておられます。色々な方が関わり、お元気に住み慣れた地域で暮らしておられます。

事例2) 89歳の一人暮らしの男性Bさん。数年前、認知症状があると診断され車の免許を返納された。息子さんは遠方にお住まいで、なかなか様子を見に帰れない状況。

2年間で『調整会議』を4回開催し、本人の出来る事、そうでないことを仕分けし、フォーマルなサービスでデイサービス通所、施設での通院介助、服薬管理等を行い、インフォーマルなサービスで区長、民生委員、隣近所の方がゆるやかな見守りを続けられている。

これによりBさんの生活基盤は整えられつつある。

地域の要見守り世帯の生活を支援していくため、この事業は令和8年度も継続します。民生委員や地域の皆様、関係機関の皆様、ご協力のほどよろしくお願い致します。

宅老所ふらっと(認知症対応型通所介護)

宅老所ふらっとは、利用者に対して、ご自宅から施設までの送迎を行い、施設で食事や入浴などの生活のお手伝いやレクリエーションを行います。

また、可能な限りご自宅で自立した生活を送ることができるよう、適した運動やレクリエーションを通して機能訓練、口腔機能の向上サービスを行い、心身機能の維持・回復を目指しています。

どうしても引きこもりがちな高齢者の方に対し、職員や利用者同士、地域との交流の機会を提供し、社会的孤立感の低減をはかります。同時に、家族の介護負担軽減の役割も果たします。

利用者定員が9名以下となっており、一般の通所介護よりも人員体制が手厚くなっています。個別介護にふさわしい配慮が施されています。

利用条件がありますので、まずはご相談ください。

**現在、ご利用者を募集しております。
まずは見学にお越しください。お待ちしております！**



朝来市社協 介護保険施設ご利用状況 1月末現在



事業名	施設名	住所	TEL	定員	登録人数	受け入れ可能人数
小規模多機能施設	ひなたぼっこ	生野町口銀谷 372-7	079-679-3006	14人	12人	2人
	おくらべ	和田山町宮田 187-6	079-673-3060	18人	17人	1人
	ひばり	山東町溝黒 123-2	079-676-5511	24人	18人	6人
	えんや	朝来市立野 164-12	079-678-1152	24人	22人	2人

事業名	施設名	住所	TEL	定員	ご利用人数				
					月	火	水	木	金
認知症デイ	ふらっと	朝来市立脇 4-1	079-677-1114	9人	9人	9人	9人	9人	9人
受け入れ可能な人数					0人	0人	0人	0人	0人

あさごふれ愛の郷あおぞら
お楽しみクラブの一コマから

たこはないけど
たこ焼きだよ！



なにが
はいつて
いるかは
あたのしみ



タコはなくてもたこ焼き。(笑)

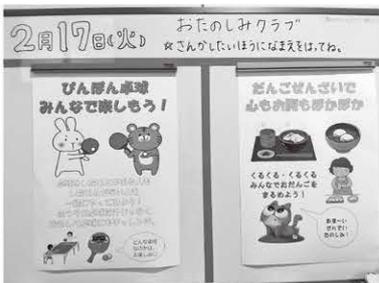
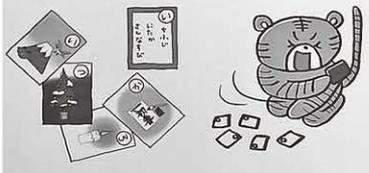
ウイナー・ちくわ・かにかま…オリジナルで色んな具材がはいりました。

とっても美味！

それぞれの思いをのせて一文字を…。

こちらもなかなかいい味が出てます！

新春 かるた大会
& 書き初めあるかも



利用状況 (受け入れ空き状況)

事業所名	事業名	定員	月	火	水	木	金
あさごふれ愛の郷 あおぞら	就労継続支援B型	45	あり	あり	あり	あり	あり
	生活介護	15	2	0	0	1	0
YOU 愛センター	放課後デイサービス	10	1	0	0	0	1

(令和8年1月30日現在)

金銭預託			
生野	生野町仏教会	善意の預託 歳末助け合い托鉢浄財	
生野 竹原野	美濃 孝次	亡妻供養	
生野	匿名	善意の預託 地藏尊浄財	
和田山	糸井大蔵仏教会	善意の預託	
和田山 市場	佐藤 吉夫	亡父供養	
和田山 枚田岡	大木 隆司	善意の預託	
和田山 林垣	隨泉寺	善意の預託 寒行浄財	
山東	山東民生委員児童委員協議会	善意の預託	
山東	山東町仏教会	善意の預託 2件 歳末・慈悲の托鉢	
山東 与布土	藤本 しげの	亡夫供養	

朝来	匿名	善意の預託
朝来 羽瀨	竹本 晃	亡義父供養
	但馬地域 兵庫県職員一同	善意の預託 歳末愛の志 24,389円

物品預託		
和田山	匿名	善意の預託 (カイロ)

払出状況	
食糧・物品支援	3件
歳末助け合い	22件
火災見舞	3件

(敬称略・順不同) ※名前、預託内容、金額等については、申込者に承諾をいただいて掲載しています。

令和8年度

「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済」
加入のご案内

～ボランティア活動中の万が一の事故に備えるため、お手続きください～

- 【補償内容】 ボランティア活動中の傷害補償(本人のケガ)・賠償責任保障・死亡見舞金(市民活動災害共済プランのみ)
- 【加入対象者】 ボランティア活動者個人またはボランティア団体は加入申込者となり、ボランティア個人が被保険者となります。
- 【掛 金】 市民活動災害共済プラン..... 1名につき500円
天災危険保障プラン(天災によるケガも保障) ... 1名につき600円
※朝来市ボランティア市民活動センター登録団体には社協より掛金負担の補助があります
- 【補償期間】 2026年4月1日～2027年3月31日
(年度途中の加入が可能です。その場合は受付日の翌日から加入となります)
- 【申込方法】 加入申込票に掛金を添えて社協窓口でお申し込みください。
4月1日から加入を希望される場合は3月31日までに申し込みください。

その他の保険として、「兵庫県ボランティア活動等行事用保険」も取り扱っています。ボランティア・市民活動団体が主催する行事活動中の事故に対応します。

申込先・問い合わせ 各地域センター・本部総合支援課まで

